

「社会人基礎力」とは

- 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力／12の能力要素>

チームで働く力（チームワーク）

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

前に踏み出す力（アクション）

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力（シンキング）

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

面接 Interview

企業の情報収集など事前準備はしっかりと

マナーや敬語の使い方など、表面的なルールを気にしがちな面接だけど、大切なのは中身。
元気の良さやあいさつはとても大事。でもプレゼンではないので、聞かれてもいないのに一方的に話し続けるのはNG。
面接では、先輩や上司になるかもしれない面接官に、「この人と一緒に働きたい」「うちの会社の社風に合っているな」と
思ってもらえるかどうかポイント。企業の情報収集をしっかり行って自分の熱意を伝えよう。
なにより、忙しいなかで面接の時間を設けてくれた面接官への感謝の気持ちを忘れずに！

ES Entry Sheet

ESはコミュニケーションの場

いちばん多いのが、「自己PR」や「学生時代に打ち込んできたこと」に書くネタがない！という悩み。
でも企業が求めているのは特別なネタではなく、その人の人物像とどんな可能性を持っているかということ。
自分の経験を交えながら自分の考えや熱意、可能性を伝えるのがESの役目。
少しでも多くの情報や自分らしさをESで伝えるためにも、書いてある質問は面接官の言葉だと考えて、
与えられたスペースをしっかりと使って面接官と対話をしよう。

監修／望月一志（マイナビ副編集長）

GD Group Discussion

足を引っ張り合うのではなくチームワークが肝心

GDでは、面接官はチームワークやコミュニケーション能力を見ている。
学生同士で足の引っ張り合いをするのではなく、グループみんなで選考を通過するつもりで協力するのが正解。
自分の意見を言うだけでなく、他の人の話をしっかり聞いているかも大きなポイント。
周りの状況を見ながら、自分がどんな役割を果たしたらいいかを判断しましょう。
GDでは時事問題がテーマになることも多いので、普段から新聞をチェックするのも対策のひとつです。